

令和6年度第1回庄原市特別支援教育研修会

令和6年5月29日(火) 庄原市総合体育館 2階会議室

特別な支援を必要とする児童生徒の適正な就学指導及び特別支援学級における適正な教育課程編成と教科用図書選定について周知することを目的に、研修会を行いました。

【講話】「特別な支援を必要とする児童生徒の適正な就学指導について」

庄原市教育委員会 教育指導課 学事係長兼主任管理主事 伊澤 知弥



- ◆ 幼保小中学校間で就学に関する連携が一層進むよう、特別な支援を必要とする児童生徒の適正な就学指導に関する講話を行った。
- ・ 就学指導に関しては、保護者、学校間、関係機関等との計画的な連携が必要である。特に、保護者へは、学期末の懇談の時のみでなく、日頃から定期的に学校の実情を情報提供していくことが大切である。継続的に教育相談を行い、「個別の教育支援計画」「個別の指導計画」等は定期的な見直しを行う必要がある。

【講話・演習】「特別支援学級の教育課程の編成について」

庄原市教育委員会 教育指導課 指導主事 延近 恵



- ◆ 特別支援学級において、当該児童生徒の障害の状況及び発達段階に応じた教育課程を編成する際の留意事項等について周知・理解を図るため、講話・演習を行った。
- ・ 児童生徒の実態に応じた、適切な指導が行われるよう、指導内容や時数、指導形態等に留意する。教科等を合わせた指導(生活単元学習、作業学習等)の内容や交流のもち方・時数には、特に留意する必要がある。

【講話・協議】「特別支援学級で使用する教科用図書の選定について」

庄原市教育委員会 教育指導課 指導主事 福田 和宏



- ◆ 特別支援学級で使用する教科用図書選定や事務手続きに係る留意事項等についての講話と、文部科学省著作教科書(星本)及び各校が使用している一般図書の閲覧を行った。
- ・ 児童生徒の実態や教育課程と整合性のとれた教科書を適切に選定する必要がある。
- ・ 知的障害特別支援学級においては、まずは下学年の検定済教科書、著作教科書、一般図書へと検討する順番に留意する。

【参加者の振り返りより】

- 就学決定の際には、本人や保護者の願いを聞き、本人が社会で自立していくためのよりよい決定ができるよう合意形成していきたい。
- 長期的な視点での実態把握ができるように、専門機関や特別支援学校のセンター的機能を活用していく。
- 児童の実態に合った教育課程を考えていきたい。その子にとってどの形態が最適かを考え、計画を立てていく。
- 教科書選定の流れや一般図書の授与形態について、職員に周知したい。